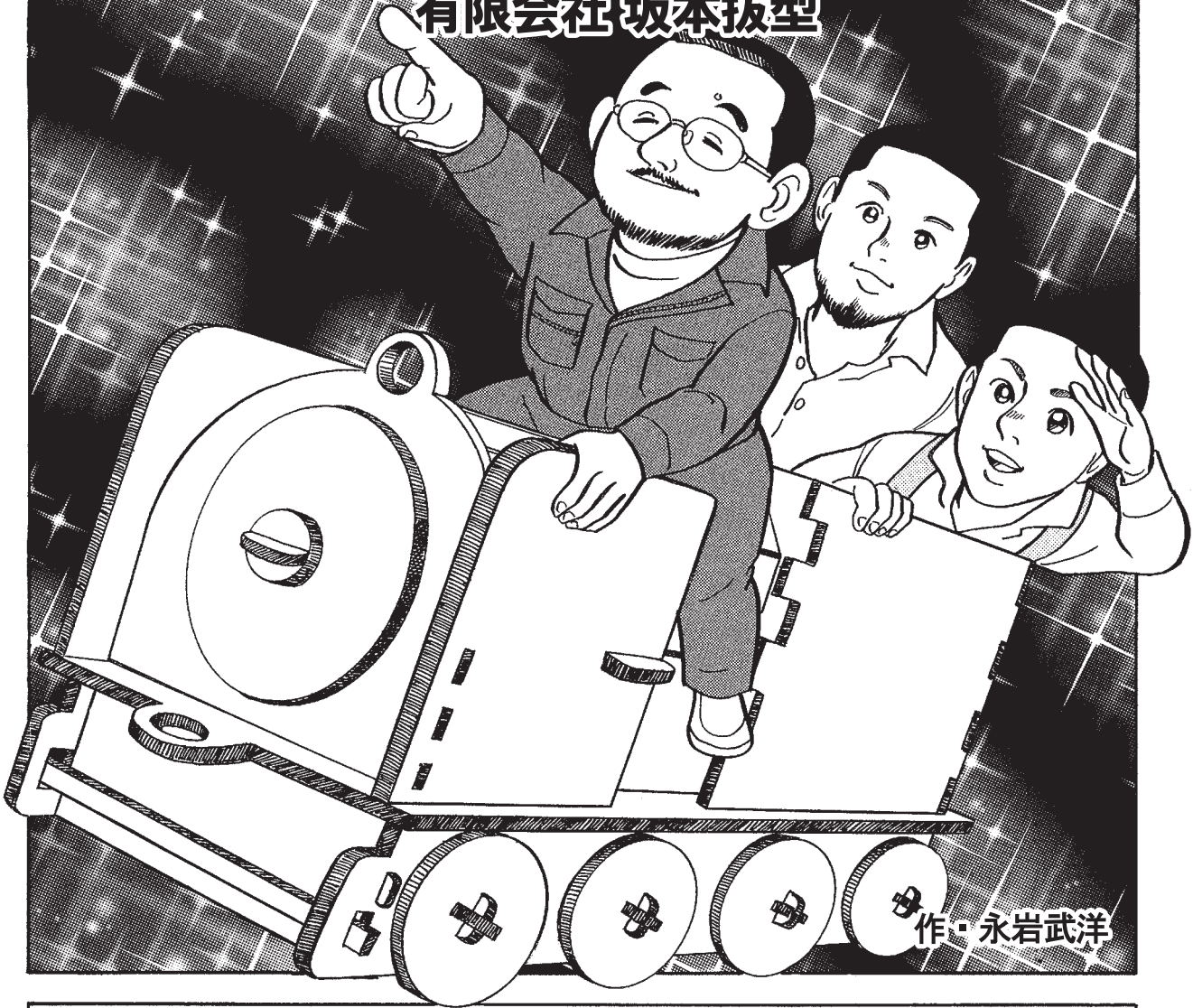
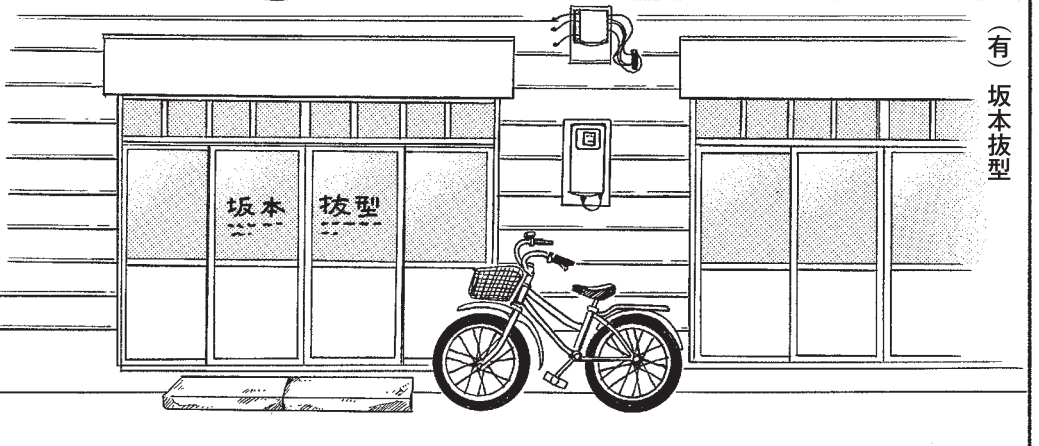


# 子供たちの笑い声をききたくて W-Products 始動! 有限会社坂本抜型

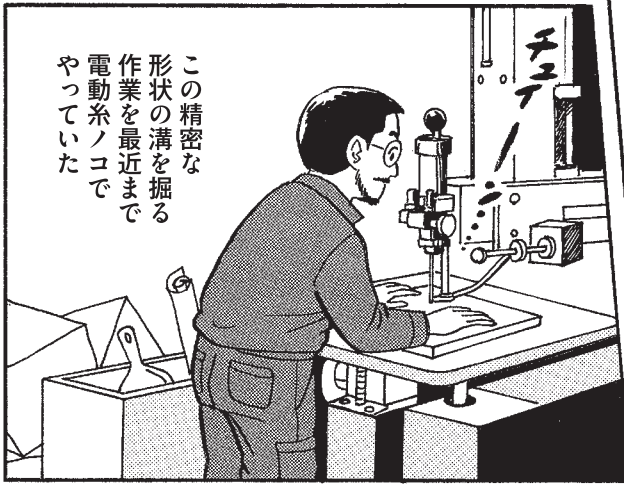


作・永岩武洋

業種・プラスチック等  
真空成形等  
抜型製造

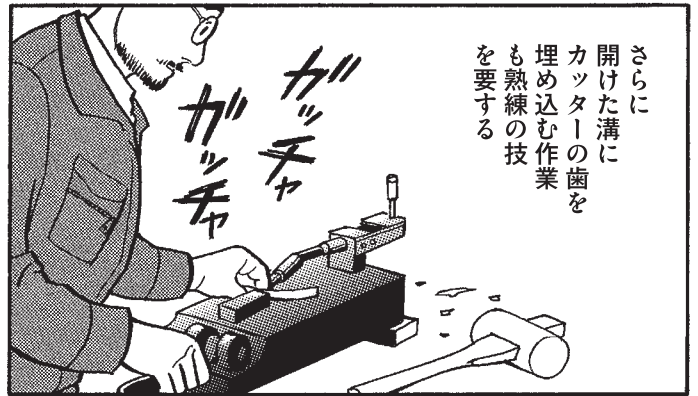
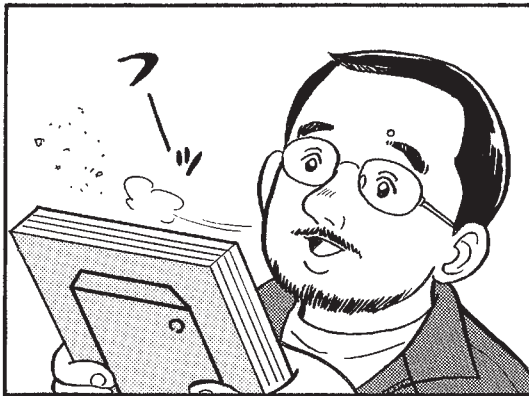
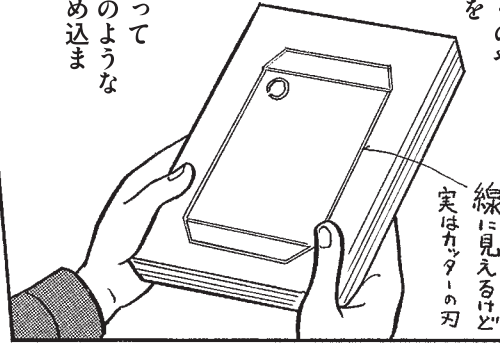


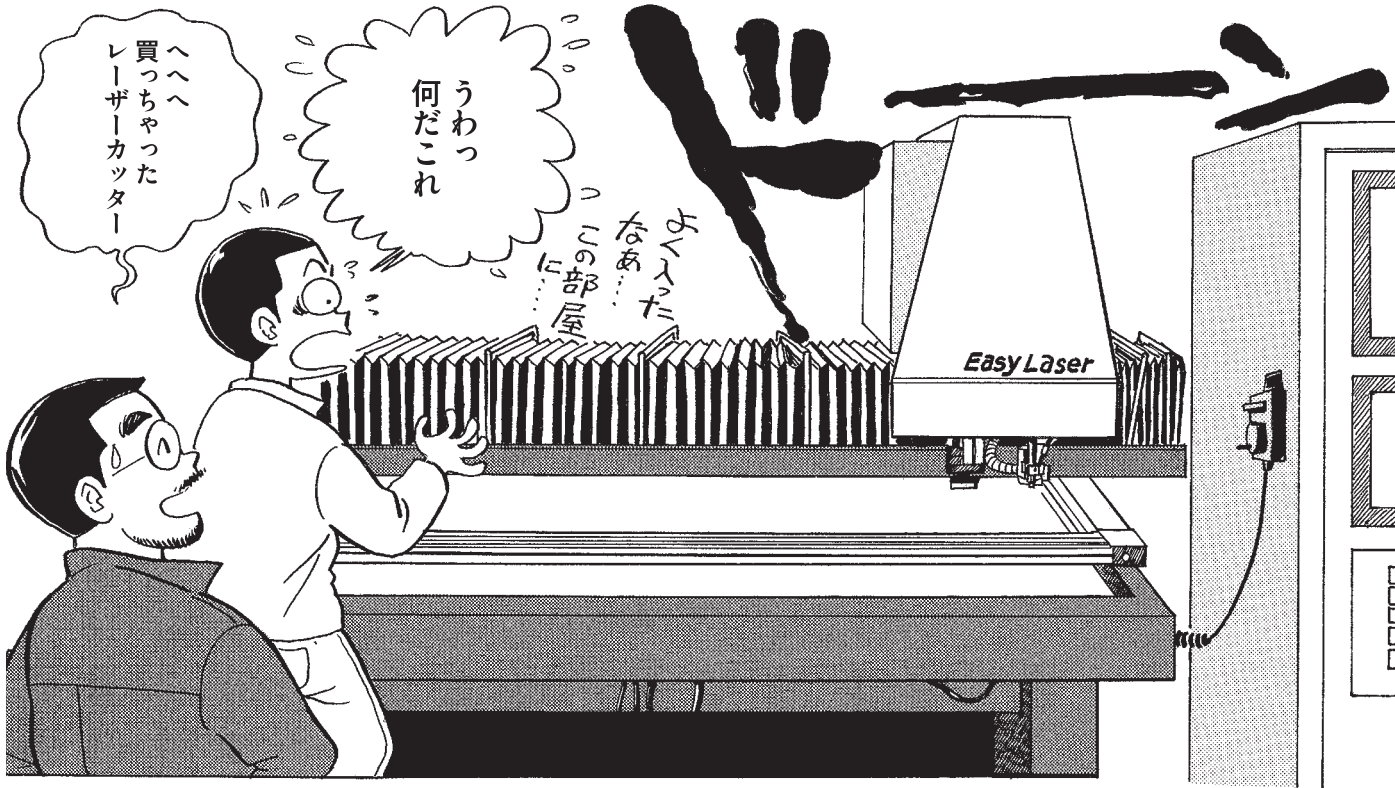
(有) 坂本抜型

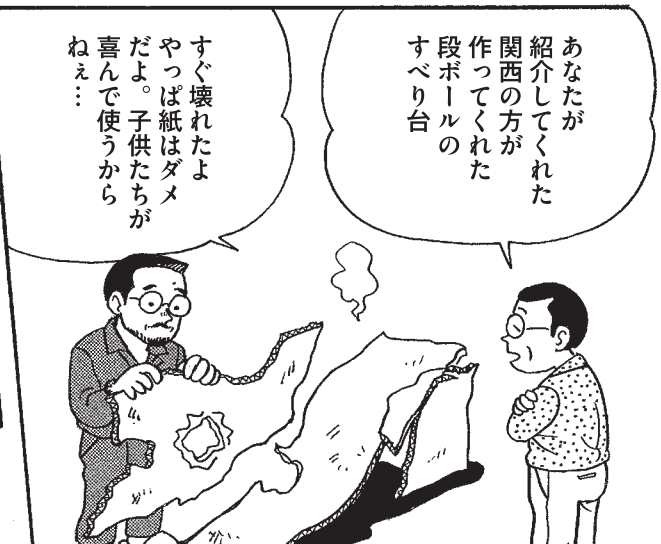
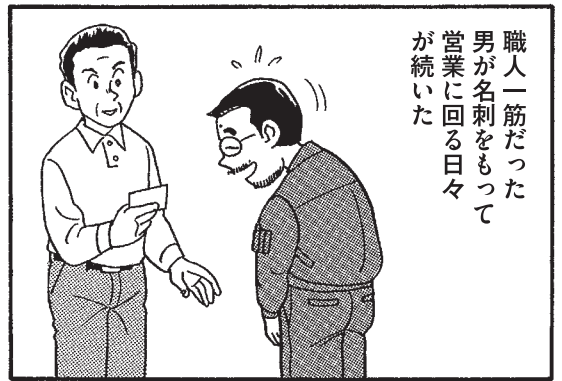
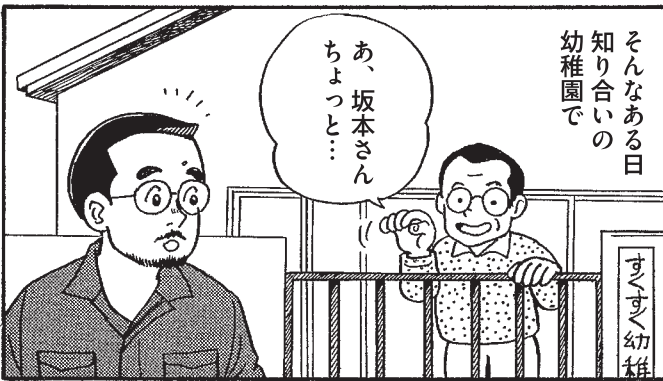
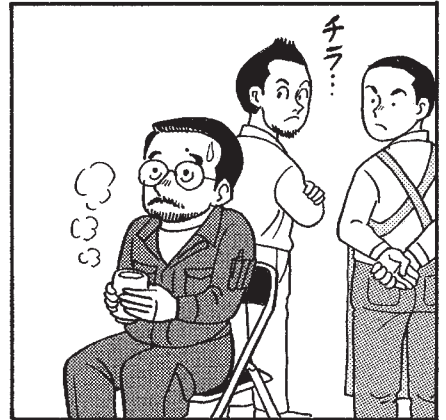
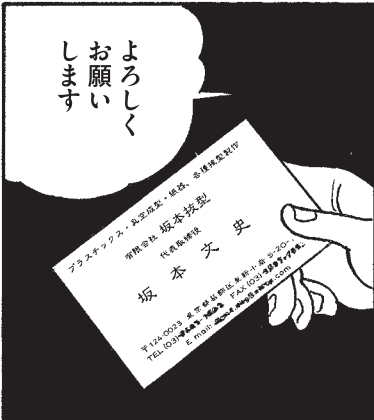


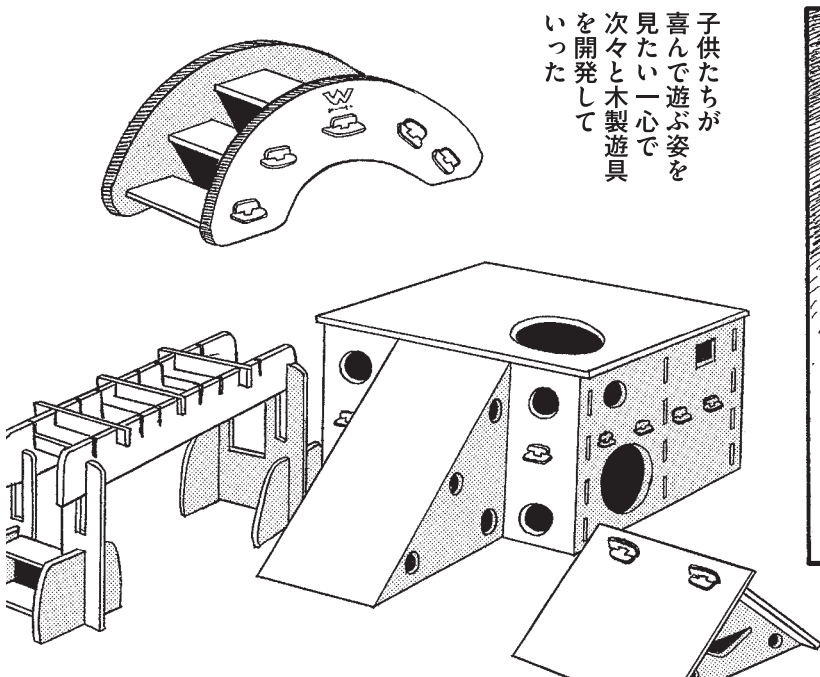
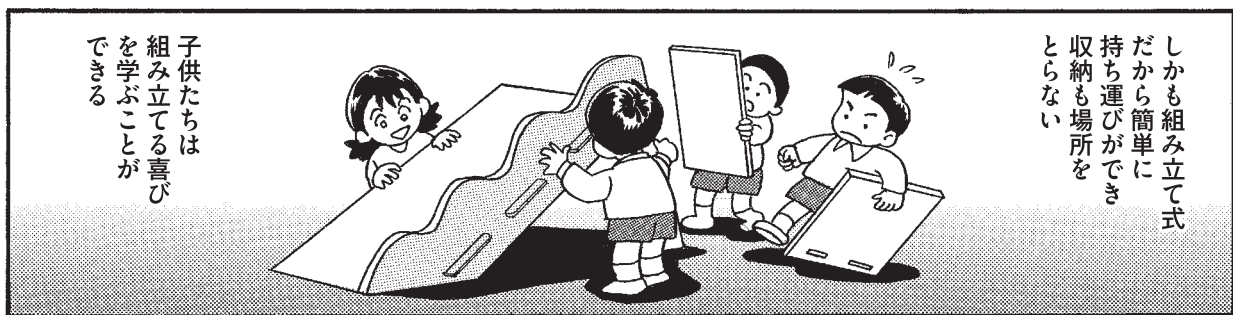
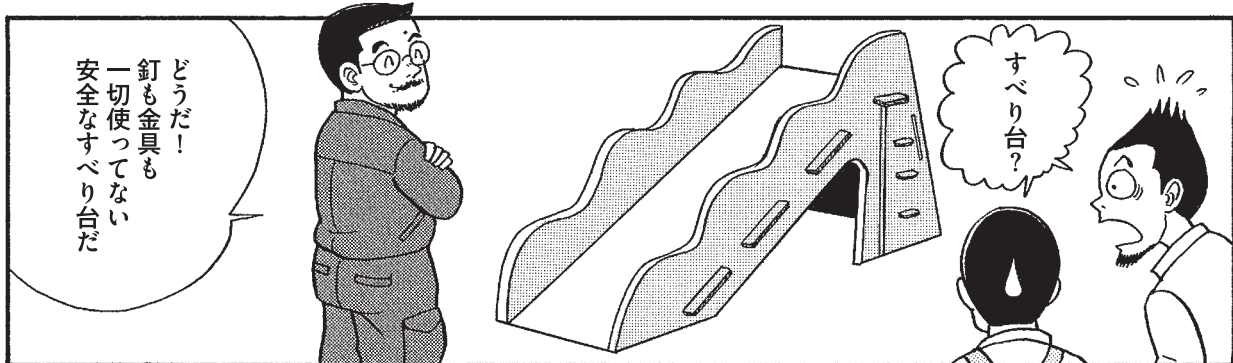
抜型とは主に  
真空成形されたものや  
パッケージなどを  
切り抜くため  
の版木の  
ことで

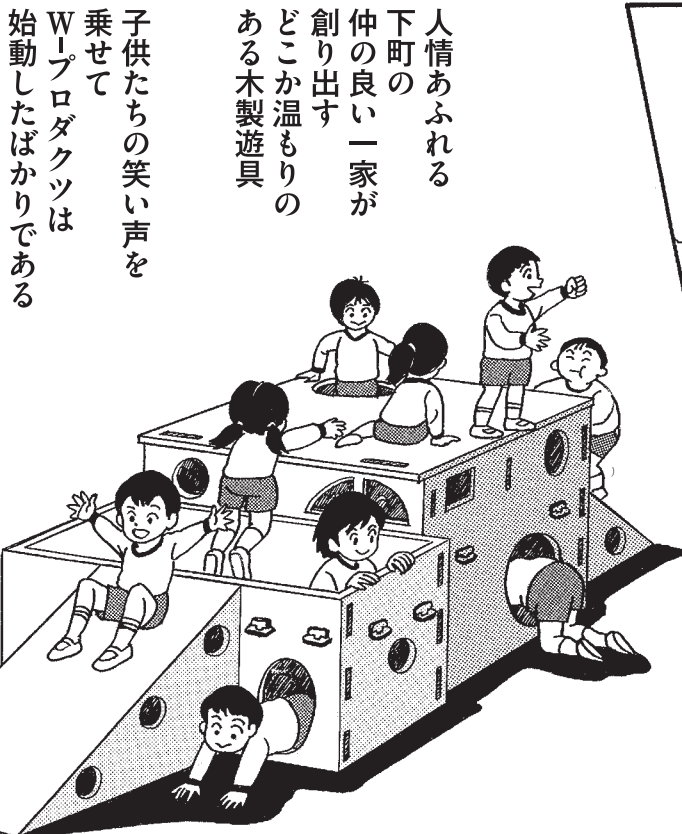
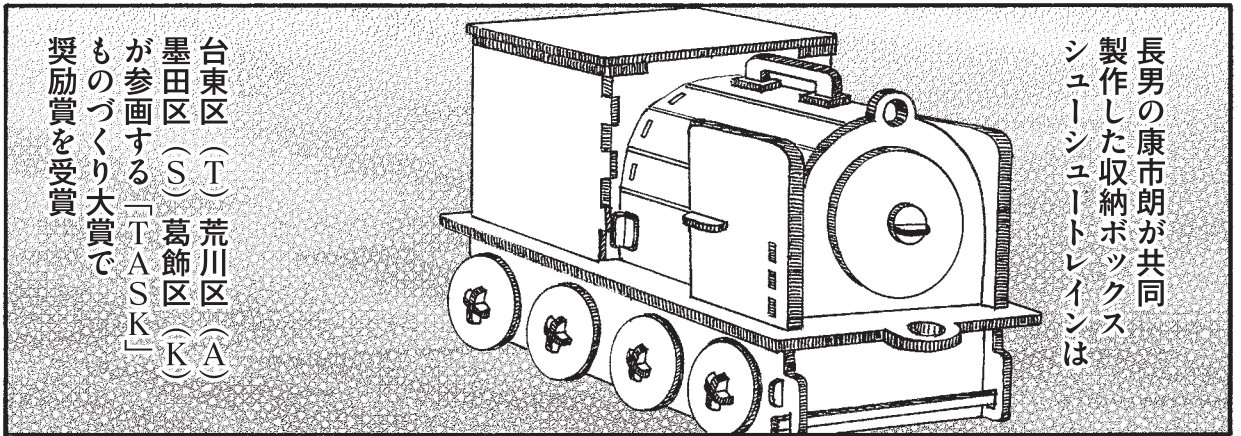
木製の  
木型に  
抜き取る形に沿って  
帯状のカッターのような  
トムリン刃が埋め込ま  
れている











KATSUSHIKA  
町工場物語

認定

有限会社 坂本抜型  
工具不要で組立解体が簡単な安心安全木製室内遊具  
木製室内遊具「デン」「すべり台」「山」

認定品名  
組立式木製遊具  
（デン・すべり台・山）

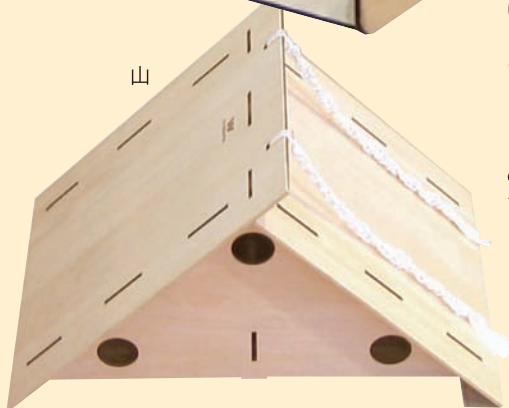
「デン」は、小さな家のような遊具。外側から上  
つて室内に入ったり、隠れ家のように使ったりと  
さまざまに楽しめる。「すべり台」は、木製のすべ  
り台。「山」は山のような三角形の形状で、上つ  
たり、三角の中を隠れ家として使ったりできる。  
いずれも（有）坂本抜型のオリジナルデザインで、  
シナベニア材を使用し、安心・安全に配慮して  
角の面取りを行い、塗装は一切行っていない。使  
わない時には解体して収納できるので場所をあ  
まりとらないというメリットもある。



デン



すべり台



山

## 有限会社 坂本抜型

所在地：葛飾区東新小岩5-20-11

電話番号：03-3697-1186

代表：坂本文史

業種：真空成形等抜型製造

従業者数：4名



製品同様、やさしく温かい印象の坂本社長

※製品写真提供は（有）坂本抜型





## 本業は抜型製造、2年前最新鋭のレーザーカッター機を導入

(有)坂本抜型の本業は、真空成形などの抜型の製造である。近年、抜型形状の複雑化および納期の短縮化の要求が強くなってきた。こうした傾向に対応するため、平成17年に、約2500万円を投資してレーザーカッター機を導入した。CADとの連動により、高速に木や金属を0.01mmの精度でカットできる最新鋭機であり、同社と同程度の企業規模で導入された例はあまりない。「以前は、レーザーカッター部分を外注に出していたが、それでは間に合わなくなってきた。長男が入社することにもなったので思い切って導入した」と坂本社長はいう。

## 社長の「子ども好き」が木製室内遊具開発のきっかけに

本業のかたわら、W-Productsというブランドを作り、レーザーカッターの特徴を活かした木製室内用遊具の開発・販売にもこれから本格的に取り組んでいくところである。

きっかけは、もともとの社長の子ども好きにあった。「2年ほど前まで地域の青少年部長や小学校のPTA会長などを歴任していた。近所の子どもは、昔の子どものように外できやあきやあ騒ぎながら遊んでくれるので楽しい」と子どものお話になると、まさしく子どものように

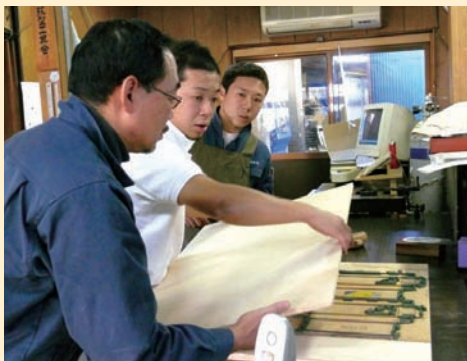
目を輝かせる。

「以前より知り合いだった関西の同業者で、サンプルカッター(型のサンプルを作る際に使用する機械)を活用して段ボールですべり台を作った人がいた。使ってくれる人を捜しているようだったので、近所の幼稚園長をやっている友達に紹介し、使ってもらえることになった。ところが、紙製だったため、すぐ壊れた」。そこで、自分で木製をやってみようと思いついた。自社でやれない部分は、外注を使ってまで試作した。

## レーザーカッターの空き時間を有効活用して遊具を開発

一方、本業の方では、レーザーカッターを導入したのはよいが、稼働する日でもせいぜい2〜3時間程度であり、もったいないと感じていた。そこで木製の遊具をレーザーカッターで開発してみようと思いついた。

「幼稚園長の友人のアドバイスなども入れながら、いろんな製品を作りホームページにも掲載した。ところが全く注文が来ず、もうやめようかと考えていたところ、群馬県の工務店から4点の注文が飛び込んできた。その工務店で顧客の注文を聞いている間に、顧客の子供を遊ばせるためのものであるとのことだった。その後、同様な用途で小児科医院からも注文があった。実際に自分の作った遊具で子どもたちが楽しく遊んでくれているのを見た時、「本当にうれしかった。作ってよかった」と感じたという。



坂本社長(手前)と長男の康市朗氏(中央)、次男の茂行氏(奥)

## 夫婦と息子ふたり、家族経営の暖かみがW-Productsの製品群にも

平成18年の1年間は、本業の受注が少なく、毎日半日は営業に費やした。その成果もあつて、現在は忙しい状態が続いている。

工場では、長男の康市朗氏と次男の茂行氏が黙々と抜型作りに取り組んでいる。「長男は1年半ほど前に、次男は4年前から入社している。親からみても気持ち悪いほど仲の良い兄弟だ」と目を細める坂本社長。夫婦と息子ふたりの家族4人で、坂本社長の人柄を反映してか、ほんわかとした暖かい雰囲気のある企業である。W-Productsの製品群に感じられる暖かみは、この企業ならではのところだろうか。